

作成日 2024/05/16
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	撥水ガラスコーティング剤 プロフェッショナルタイプ
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	自動車用コーティング剤
使用上の制限	一般工業用
整理番号	M240516

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分2
健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 生殖毒性 区分1B 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H225 引火性の高い液体及び蒸気
H302 飲み込むと有害
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地しアースをとること。(P240)
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)
皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
口をすすぐこと。(P330)

応急措置

保管	火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378) 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
廃棄	施錠して保管すること。(P405) 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
アルコキシド	3.0～10.0%	不明	不明	不明	不明
シロキサン	40.0～45.0%	不明	不明	不明	不明
アルコキシシラン	45.0～50.0%	不明	(2)-2052,(2)-2053	既存	1112-39-6
メタノール(不純物)	0.3～1.0%未満	CH ₃ OH	(2)-201	既存	67-56-1
1-ブタノール	微量	CH ₃ CH ₂ CH ₂ CH ₂ OH	(2)-3049	既存	71-36-3

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を石鹸と水で洗うこと。
刺激が強まったり続く場合は医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

目に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。直ちに医師の手当を受け取ること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。

医師に対する特別な
注意事項

症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素(CO₂)

使ってはならない消火剤

水

火災時の特有の危険有害性

加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。

特有の消火方法

火災や爆発の場合、ヒュームを吸入してはならない。もし危険を冒さずに出来る場合は、区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

安全を確認してから、流出防止の措置をとる。環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

全ての着火源を取り除く(その場での喫煙、炎、スパークまたは火炎は禁止)可燃性物質を流出物から遠ざける。

大量の漏出

危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、破棄の為に容器に収める。

少量の漏出

布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に清掃すること。元の容器に回収して再使用することは避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意 技術的対策 (局所排気、全体換気等)

製品を取り扱う時に使用するすべての装置は、接地しておく必要がある火花を発生させない工具及び防爆装置を使用する。蒸気は、空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある 換気のよい場所でのみ取り扱うこと。

安全取り扱い注意事項

使用前に取り扱い説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。取り扱い/保管は慎重に行うこと。直射日光に当てないようにする。禁煙。静電気の放電防止策をする。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。長時間の暴露を避けること。排水路に流してはいけない。

適切な衛生対策

休憩前や製品取り扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生及び安全対策のもとに取り扱う。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること 熱、火花、裸火から離して保管すること 容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること 子供の手の届かないように保管すること。直射日光の入らない涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。

混触危険物質

『10.安定性及び反応性』を参照。

安全な容器
包装材料

元の容器で保管

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
アルコキシシラン	未設定	未設定	未設定
メタノール(不純物)	200ppm	200ppm(260mg/m3)(皮)	設定あり

1-ブタノール	25ppm	【最大許容濃度】 50ppm(150mg/m ³)(皮)	設定あり
---------	-------	---	------

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
アルコキシシラン	未設定	未設定
メタノール(不純物)	未設定	未設定
1-ブタノール	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策 防爆型の全体および局所排気型換気装置。洗顔設備を設置する。

保護具	呼吸器の保護具	有機ガス用防毒マスク
	手の保護具	保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	側板付き安全鏡(又はゴーグル)を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	淡黄色・透明
臭い	微臭
融点／凝固点	該当せず
沸点又は初留点及び沸点範囲	82℃(アルコキシシラン)
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限 下限	データなし
界／可燃限界 上限	データなし
引火点	-10℃(密閉式)
自然発火点	>200℃
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	1.2mm ² /s(25℃)
溶解度	不溶(水)
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	11kpa(25℃)[アルコキシシラン]
密度及び／又は相対密度	0.97(25℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	分子量 該当せず

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

水および酸、アルカリ化合物とおだやかに反応する。

通常の条件では安定。
危険な重合は起こらない。
情報なし
強酸化剤
本品は水及び酸、アルカリ化合物と穏やかに反応して(加水分解)下記化合物を生成する。
メタノール、1-ブタノール

11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が1404.6822742mg/kgのため区分4とした。

経皮

急性毒性推定値が340000mg/kgのため区分に該当しないとした。

吸入

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

急性毒性推定値が22500ppmのため区分5とした。

JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(粉じん・ミスト)

急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感作性

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

発がん性

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

(生殖毒性)

区分1Bの成分が0.99%のため、区分1Bとした。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

誤えん有害性

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報
水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
地域の廃棄規制

焼却処理。但し、高引火性の為ご注意ください。
焼却の際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。
必要に応じて防塵マスク等の保護具をお願い致します。
廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。
内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って処理すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
UN No.
Proper Shipping
Name

IMOの規定に従う。

1993

その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)

Class
Packing Group
Marine Pollutant
Transport in bulk

3

II

applicable

Not applicable

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.

1993

Proper Shipping
Name

その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)

Class

3

Packing Group

II

国内規制

陸上規制

非該当

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

国連番号

1993

品名

その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)

クラス

3

海洋汚染物質

該当

航空規制情報

航空法の規定に従う。

緊急時応急措置指針番号

128

15. 適用法令
労働安全衛生法

作業環境評価基準(法第65条の2第1項)

	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9) 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9) メタノール(政令番号:560)(0.99%) 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者(法第66条第2項、施行令第22条第1項) 皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧) メタノール
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
消防法	第4類 引火性液体 第一石油類(非水溶性)
大気汚染防止法	特定物質(法第17条第1項、施行令第10条)
	揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
海洋汚染防止法	危険物(施行令別表第1の4)
	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
	有害液体物質(X類同等の物質)(環境省告示第148号第1号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・引火性液体類(法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
16. その他の情報	
参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、 作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
その他	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。

この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。